

教科(科目)	英語 (総合英語 I)	単位数	6 単位	学年(コース)	4 学年
使用教科書	東京書籍『ENRICH LEARNING English Communication I』				
副教材等	東京書籍『ENRICH LEARNING English Communication I Workbook』、『ENRICH LEARNING English Communication I 本文学習ノート』、大修館『Genius English Logic & Expression I』、啓林館『Vision Quest 総合英語 3rd Edition』、『Vision Quest New English Grammar 24』、『Vision Quest New English Grammar 24 WORKBOOK』、桐原書店『DataBase3300 基本英単語・熟語』、『DataBase3300 書き込み式定着ノートA、B、C』、啓隆社『Listening Essentials1.5』、いっぴずな書店『Mileage Reader ②New Edition』、アルク『英会話なるほどフレーズ100』、リクルート『スタディサプリ English 中高生英会話コース』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に着け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

- 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
- 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
- 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
- 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
- コミュニケーションを支えるものとしての文法の形式・意味・機能に習熟し、必要な場面で適切な文法形式を用いて正しく表現することができる。
- 日常的な話題や社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の展開や構成を工夫しながら1パラグラフの文章にまとめて書いて伝えることができる。

3 指導の重点

一年間で、次の技術習得を目指す。

- 基本語 1000 語を適切な技能において使用できる。
- 見て意味が分かる語を約 3000 語にする。

3. 1万語の英文を読む。
4. 英文の読解速度として教科書を130WPM(1分間に130語)で読むことができる。
5. 教科書本文の1つの段落内の要点や内容のつながりを理解することができる。
6. 教科書のリスニング活動に出てくる長めの英文や会話を聞いて、大筋を理解することができる。
7. 与えられたテーマについて、自分の意見を論理的に述べたり、書いたりすることができる。
8. ICT機器を活用して、海外研修のテーマについてプレゼンテーションをすることができる。
9. 海外研修での成果を5分程度で発表することができる。
10. 英語で即興ディベートをすることができる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聴くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

5 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ パフォーマンステストに係わる提出物の内容、提出状況の確認 ・ レポートやワークシートなど提出物などの内容の確認 ・ 小テスト、中間・期末考査、評価問題など などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ パフォーマンステスト ・ パフォーマンステストに係わる提出物の内容、提出状況の確認 ・ レポートやワークシートなど提出物などの内容の確認 ・ 小テスト、中間・期末考査、評価問題など ・ 振り返りシートの記述の分析 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ パフォーマンステスト ・ パフォーマンステストに係わる提出物の内容、提出状況の確認 ・ レポートやワークシートなど提出物などの内容の確認 ・ 振り返りシートの記述の分析 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名 (題材)	学習活動(指導内容)	評価方法
4	Unit 1 What can happen in one second	18 Listening Reading Writing Interaction Presentation	学校新聞の記事 などを通して、 1秒間に世界で 起こっているこ とについて学 ぶ。	<p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け身、不定詞、動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・疑問詞やつなぎ言葉について、プレゼンテーションのスタイルに対応した適切な用法を理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞やつなぎ言葉などを用いて、身のまわりや世界で起きている話題について、聞き手へ問いかけたり、理由や根拠を示すなどしたりしながら、自分の考えや気持ちを話して伝える技能を身に付けている。 <p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達型プレゼンテーションの場面で、身のまわりや世界で起きている話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えている。 <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達型プレゼンテーションの場面で、身のまわりや世界で起きている話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。 	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>プレゼンテーション</p> <p>プレゼンテーション 授業中の取り組みのみ とり</p>
5	Unit 2 What do superstitions mean to you?	29 Listening Reading Writing Interaction	機内誌の記事な どを通し て、さまざまな 国や地域で信じ られている迷信 について学ぶ。	<p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞+受け身、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・条件節と帰結節を用いて、要点を書いたり、具体例を提示したりしながら物事を描写する方法を理解している。 <p>[技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件節と帰結節などを用いて、迷信や信念について、読み手が誰であるかを意識しながら、要点を書いたり、具体例を提示したりする技能を身に付けている。 <p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラッキーアイテムを紹介するために、身のまわりの迷信や信念について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して要点や具体例を書いている。 <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラッキーアイテムを紹介するために、身のまわりの迷信や信念について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して要点や具体例を書こうとしている。 	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート ライティング記述のチ ェック</p> <p>ワークシート ライティング 授業中の取り組みのみ とり</p> <p>ワークシート スピーチ</p>
5	定期テスト	1			

6	Unit1 Unit 2 Speaking Review Task	5 Interaction	・身の回りの驚くべき事実について話し合う ・迷信や信念について話し合う	[思考・判断・表現] ・Unit 1, Unit 2 で学習した内容を基に、事実や自分の考えなどを自立的に話して伝え合っている。	ペアワークの観察・録画の提出・授業中の取り組みの見とり
6 7	Unit 3 How can we promote sustainability	30 Listening Reading Writing Interaction	E メールのやり取りなどを通して、ゼロ・ウェイスト政策について学ぶ。	[知識・技能] ・分詞の形容詞用法や関係代名詞（省略の形を含む）を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [思考・判断・表現] ・フォーマルな E メールを書く場面で、環境保全に関する内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書いたりしている。 [主体的に学習に取り組む態度] ・フォーマルな E メールを書く場面で、環境保全に関する内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書いたりしようとしている。	ワークシート ワークシート ライティング 記述内容 ワークシートの取り組みの見とり
9	Unit 4 What can we learn from native Hawaiians?	29 Listening Reading Writing Interaction	博物館のパンフレットなどを通して、ハワイ語やハワイ文化の歴史について学ぶ。	[知識・技能] ・現在完了形の受け身、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・事実と意見を分けたり、ポイントを絞って伝えたりするなど、スピーチのスタイルに対応した適切な方法を理解している。 [思考・判断・表現] ・スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えている。 [主体的に学習に取り組む態度] スピーチの場面で、身のまわりの言葉や文化に関する話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。	ワークシート ワークシート スピーチ 原稿の内容 スピーチ 授業中の取り組みのみとり・
9	定期テスト	1			
10	Unit 3, Unit 4 Speaking Review Task	5 Interaction	・生態系や環境保護のためにできること ・日本の伝統文化について	[思考・判断・表現] ・Unit 3, Unit 4 で学習した内容を基に、事実や自分の考えなどを自立的に話して伝え合っている。	ペアワークの観察・録画の提出・授業中の取り組みの見とり

10 11	Unit5	29 Listening Reading Writing Interaction	ウェブの記事などを通して、自分が体験したことを聞き手に語る際の秘訣を学ぶ。	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SVOC [分詞、関係副詞 how、助動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・体験談を伝えるために、適切な表現や方法を理解している。 <p>[思考・判断・表現]</p> <p>スピーチの場面で、身のまわりの出来事について、体験した内容を基に、聞き手を引き付けながら、わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝えている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>スピーチの場面で、身のまわりの出来事について、体験した内容を基に、聞き手を引き付けながら、わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝えようとしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート・原稿の内容・スピーチ</p> <p>スピーチ 授業中の取り組みの見取り</p>
11	定期テスト	1			
12	Unit6	20 Listening Reading Writing Interaction	オンライン百科事典の伝記などを通して、優れたリーダーシップをもつ人物の経歴を学ぶ。	<p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分詞構文、関係副詞 where[when/why]を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・リーダーシップに関連した語彙や表現を用いるなどして、人物の略歴を紹介する適切な方法を理解している。 <p>[技能]</p> <p>ある人物について、時系列で書いたり、略歴を紹介したりしながら、関連のある情報を簡潔かつ正確に原稿に書く技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現]</p> <p>ある人物を紹介するために、関連のある情報を時系列で書いたり、略歴を紹介したりして、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書いている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>ある人物を紹介するために、関連のある情報を時系列で書いたり、略歴を紹介したりして、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書こうとしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート ライティング 記述内容</p> <p>ワークシートの取り組みの見取り</p>
	Unit 5、 Unit 6 Speaking Review Task	5 Interaction	<ul style="list-style-type: none"> ・尊敬する有名人について ・失敗から学んだ体験談 	<p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Unit 5、Unit 6 で学習した内容を基に、事実や自分の考えなどを自立的に話して伝え合っている。 	<p>ペアワークの観察・録画の提出・授業中の取り組みの見取り</p>

1	Unit 7	20 Listening Reading Writing Interaction	英字新聞の記事などを通して、今住んでいる場所を選んだ理由やそこでの暮らしの魅力について学ぶ。	<p>[知識]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原形不定詞、仮定法過去完了、過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・場所に関連した語いや表現を用いるなどして、将来住みたい場所についてのエッセイを書く適切な方法を理解している。 <p>[技能]</p> <p>将来住みたい場所についてのエッセイを書くにあたり、パラグラフの構成を意識して書いたり、本論で理由を具体例とともに述べたりしながら、首尾一貫性のある原稿を書く技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現]</p> <p>将来住みたい場所についての主張を展開するために、パラグラフの構成を意識して書いたり、本論で理由を具体例とともに述べたりして、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書いている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>将来住みたい場所についての主張を展開するために、パラグラフの構成を意識して書いたり、本論で理由を具体例とともに述べたりして、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書こうとしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート ライティング 記述内容</p> <p>ワークシートの取り組みの見とり</p>
2	Unit 8	17 Listening Reading Writing Interaction Presentation	ウェブの記事などを通して、世界中のさまざまな成人の儀式について学ぶ。	<p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 what、関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・プレゼンテーションの場面で、外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、その概要を伝える適切な表現や方法を理解している。 <p>[思考・判断・表現]</p> <p>プレゼンテーションの場面で、外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>プレゼンテーションの場面で、外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えようとしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>プレゼンテーション</p> <p>プレゼンテーション 授業中の取り組みのみ とり</p>

合計210時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・各週の最初に単語テストがあります。テスト範囲は、別紙予定表を配ります。
- ・週末課題が出ます。一週間を見越して予定を立て、翌週月曜日に提出してください。
- ・単元ごとに、パフォーマンステストを実施します。また、その都度振り返りシートを記入し、提出することとなります。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

8 担当者からの一言

いよいよ後期課程に入り、英語の教科書も今までとは大きく変わります。4技能5領域（リスニング、リーディング、スピーキング：やり取り、スピーキング：発表、ライティング）の向上を目指すのは、これまでと変わりません。しかし、高校の教科書は英文の量が多くなり、さらに取り扱う内容も、身の回りの日常的话题から社会問題、自然環境問題など、これまで以上に深化したものになっています。

今年は予習、復習を大切にしましょう。「予習→授業→復習→わかる→楽しい」の正のスパイラルサイクルを定着させることによって、より深い理解と学びを得ることができます。それと同時に、常に社会に目を向け、“考えて自分なりの意見をもつ”ことも忘れないようにしましょう。英語の授業に真剣に取り組むことによって、英語力のみならず、みなさんの精神面においても、大きな成長が見られることを期待しています。

(担当：阿部、東條)